

第4章 北区が今後取り組む必要のある課題

前章までの北区の現状やこれまでの取り組みの評価を踏まえ、持続可能な地域公共交通の実現に向けた課題を整理しました。

持続可能な地域公共交通の実現に向けた課題

1. 既存の公共交通網の利便性向上と維持

- ・鉄道や路線バスによって、市の中心部への移動は比較的充実しているものの区内を移動するための生活交通網は十分とは言えない。
- ・北区では、自動車に頼らなければ移動しにくいと感じる区民の割合が多くなっている。既存の公共交通網を確保・維持した上で、収支率を上げながら、利便性を向上させ、利用を促進する取り組みが必要である。

2. 地域に即した公共交通の検討

- ・超高齢社会の進展を背景に公共交通のニーズが増加傾向にあるなど、地域の状況は変化している。こうした変化に対応するために、地域に即した公共交通を検討していく必要がある。
- ・多様な移動需要に対応するために、病院等の目的バスと連携するなど、さまざまな地域資源の活用を模索することが重要である。

3. 公共交通を地域みんなで支える仕組みづくり

- ・地域との協働を進める中で、持続可能な公共交通についてともに考え、取り組みを進めていくことが必要である。
- ・また、地域公共交通の全般について、区内の交通関係者と積極的な意見交換を行い、情報を共有していくことが必要である。